

"空き"はポテンシャル！

視点を変えて、まちを使いこなそう。

佐賀市長崎街道呉服元町の様子



BEFORE



AFTER

令和8年7月27日 月 19:00~20:30

会場：津市中央公民館ホール(津市大門7-15)

参加申込は右の二次元コードからフォームにアクセスの上、必要事項を入力ください。



▲参加申込

近年深刻化する少子化・高齢化に加えて、社会状況の変化など、私たちはいま、かつてない時代に直面しています。津観音の門前町としてにぎわってきた大門・丸之内地区も、車社会の進展や郊外の大型店舗の台頭によって低未利用の土地や建物が増加しています。まちのシンボルだった大通りのアーケードも姿を消し、これからの未来を見据えた、新たなまちづくりを考えなければならないタイミングが来ています。

一方で、視点を変えてまちを見てみると、アーケードが外れて空が広がった大通りや、観音公園・入江公園のような公共空間、そして空き店舗などの民間の遊休不動産は、どれも「日々の暮らしを豊かにしてくれる資源」です。これらの資源を上手に使えば、小さくても楽しい出来事を生み出せること、そしてその連鎖が豊かな日常をつくり出していく可能性にあふれています。

他都市における成功事例などを基に、大門・丸之内ならではの魅力を再考するこれからの取組みについて皆さんとともに考えたいと思います。ぜひご参加ください。

■講師：西村 浩 建築家・クリエイティブディレクター / 株式会社ワークヴィジョンズ



1967年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案からまちづくりのディレクションまで、「まち」と「そこで暮らす人々」の豊かで楽しい日常づくりを実践。

鳥羽市「カモメの散歩道」でグッドデザイン賞、土木学会デザイン賞受賞。自身の出身地である佐賀市では、昭和期に衣料品店やスーパー、個店などでにぎわっていたものの、シャッター通りとなってしまった長崎街道の呉服元町を、自らも建築家・当事者として人気のエリアに変えたことにより、当該エリアは地価が上昇。土地活用モデル大賞「国土交通大臣賞」を受賞した。



BEFORE



AFTER

■参加申込は二次元コードからフォームにアクセスの上、必要事項を入力または下記お問合せ先まで。

お問合せ | 津市都市計画部都市政策課 大門・丸之内まちづくり・新都心軸担当

Tel : 059-229-3183 / Mail : 229-3177@city.tsu.lg.jp